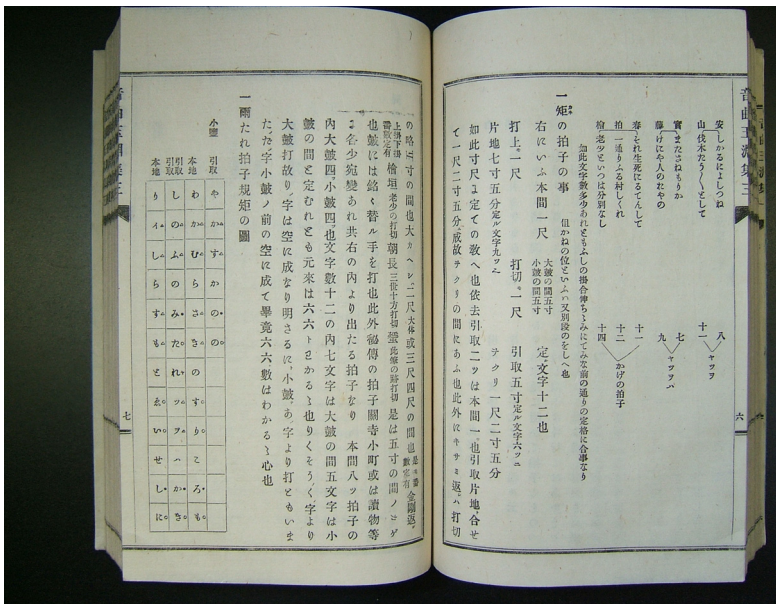
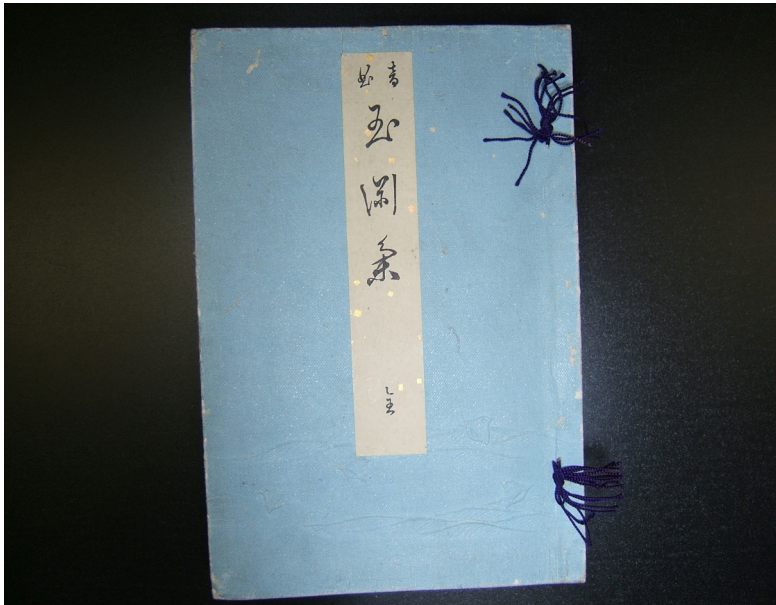


時中翁庚妥 『音曲玉淵集』

今村義福寛保三年序につづき、明治三二年、大和田建樹序が、刊行の経緯を述べる。明治三六年、四四年大正二年と版を重ねる。写真下は、八拍子の規矩を説明する部分。八拍子の大きさを一尺、その半分のトリを五寸、ヲクリを一尺二寸五分とする説明は、混乱を招く表現だったにちがいない、以後あまり類例がない。「程拍子、うけをしの拍子、謡出し五拍子、進退の五拍子、打五拍子、七ツ拍子、打一拍子、末の拍子、四拍子、枕拍子」等の用語の説明もあり。



標題 内題…音曲玉淵集

標題紙…

奥附…

その他…音曲玉淵集(目次・卷末・柱・

題簽)、謡曲玉淵集(序・卷五卷

末)、音曲玉淵集(卷二卷末)

著者 奥附…

その他の場所…時中翁庚妥(巻頭)

出版 版次…第四版

出版地…東京

出版社…江島伊兵衛

出版年…大正2(1913)

その他の場所…

形態 冊数…一冊 頁数…六〇頁十七三頁

寸法…23×15(cm)

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…現物

備考 大和田建樹訂正(奥附)、今村義福述(巻

頭)。明治三二(一八九九)年大和田建樹

序。